

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

第 11 期（2022 年度）事業計画

1. 市民活動支援／市民活動支援センターの連携・人材育成

県民活動サポートセンター「ボランティア活動相談窓口」での相談対応は 11 年目となります。ボランティア活動相談窓口は、神奈川県内におけるボランティア活動の広がりや、NPO 法人・ボランティア団体等の団体運営の自立を支える重要な相談拠点であり、引き続き県民活動サポートセンターと協力して、同窓口における相談対応を行います。

また、昨年度アドバイザー相談業務を通じて行った『県内ボランティア活動支援センターの支援事業に関する調査』の結果、ボランティア活動相談窓口に対して「参考となる相談事例の情報提供」を期待する声が多くました。そこで今年度は、県内で市民活動・NPO 相談の対応力を高めるため、相談対応事例を共有するなど、支援施設間で学び合う機会となる勉強会を開催します。

さらに、NPO 支援を柱とするソコカナの自主事業の展開を進める必要があります。昨年度は、県内ボランティア活動支援センターの新任スタッフに向けた研修会を開催しました。今年度も県内の支援センタースタッフに向けた研修会を開催予定です。

- ・ 県民活動サポートセンターにて、ボランティア活動に関する相談対応
（火曜～土曜の午後（4 時間）、面談、電話、メール、Zoom で対応）
- ・ 相談対応事例の検討・勉強会の開催
- ・ 市民活動・NPO 支援力を高めるための学習会の開催

2. 企業・大学等への支援、協働推進に向けた取組み

地域社会貢献活動に関心を寄せる企業や大学向けの相談対応を行い、企業、大学関係者等の地域課題や NPO への理解・関心を深める一助となり、課題解決に向けた行動を促します。NPO との連携・協働や、地域社会貢献に関心のある企業・大学等を、地域で活動する NPO とつなぎます。また、依頼に応じて、企業・事業者等が行う研修や、大学の授業等に講師を派遣します。

- ・ 企業・事業者、大学関係者等からの相談・研修への対応

3. 市民参加・地域人材育成

かながわコミュニティカレッジ運営業務などを通して、地域で活動する市民・団体の学びを支え、活動する人々の交流や活動への参加を推進します。

- ・ かながわコミュニティカレッジ事務局運営
(講座を通して NPO や地域活動への市民参加を推進)

4. 災害時中間支援機能の構築に向けた取組み

2020 年 4 月に立上げた「災害復興くらし応援・みんなのネットワークかながわ(準備会議)」(構成団体：ソコカナ、認定 NPO 法人市民セクターよこはま、認定 NPO 法人かながわ 311 ネットワーク)の活動を推進します。

- ・ 県域の災害時情報共有・連携の枠組みづくり
- ・ 災害時に機能する被災者支援のための民間ネットワークづくり
(かながわボランティア活動推進基金 21 協働事業として実施)